

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号：D-14-1								
事業名：造成宅地滑動崩落緊急対策事業								
事業費：総額 41,100 千円 国費 30,825 千円 (内訳：工事費 41,100 千円)								
事業期間：平成 24 年度～平成 25 年度								
事業目的：造成宅地における滑動・崩落防止対策 盛土上の家屋数：N=7 戸 影響施設：道路（町道）								
事業地区：長瀬地区								
事業結果 補強土留工 1 式（緑化テールアルメ工 A=213.0 m ² ） ブロック積み擁壁工 1 式（ブロック積み擁壁工 A=128.0 m ² ） 平成 24 年度～平成 25 年度 工事 41,100 千円								
事業の実績に関する評価								
<p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>○当該事業で整備した補強土留め等により、将来の災害軽減に努めるとともに、盛土上にある家屋の安心安全な生活環境に寄与した。</p> <p>⇒ 上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。</p>								
<p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>○本事業は工法検討や経済比較などを実施し、土木工事積算標準書を用いるなど合理的な設計積算のもと効率的に工事を実施することができた。</p> <p>⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。</p>								
<p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定した事業期間</th> <th>実際に事業に有した事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事</td> <td>平成 24 年 3 月～平成 25 年 3 月</td> <td>平成 24 年 6 月～平成 25 年 6 月</td> </tr> </tbody> </table> <p>⇒ 本工事は平成 24 年 6 月に事業に着手し、平成 25 年 6 月に整備を終えており、当初想定した期間より若干時間を要したものの、競争入札方式などを採用するなど、事業手法としては妥当であったと判断する。</p>				想定した事業期間	実際に事業に有した事業期間	工事	平成 24 年 3 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 6 月～平成 25 年 6 月
	想定した事業期間	実際に事業に有した事業期間						
工事	平成 24 年 3 月～平成 25 年 3 月	平成 24 年 6 月～平成 25 年 6 月						
事業担当部局 亘理町都市建設課都市整備班 電話番号：0223-34-0507								